



伊豆市議会 教育厚生委員会 行政視察報告書

10月23日 10月24日の両日愛知県 静岡県の行政視察を実施しました。

想定外のバスの故障があり行程変更はありましたが2日間行動をご一緒させていただいた教育厚生委員会の皆様大変お疲れ様でした。

バスの故障にて代車待ちのため日進市（愛知県）「給食を食べたいから学校に行く」日本一おいしい給食を目指す取組、は行程上割愛した。

10月23日（木）

【岩崎城歴史記念館】：日進市

：日進市の歴史、文化遺産の継承、歴史に見る事象を正しく理解していくことの為に作られた。戦国武将丹羽一族が城主であった。岩崎城の岩崎は地名（現在は岩崎町）である。曲輪、堀、空堀は発掘して現存している。いわゆる山城であったと思われる。城郭は城門、櫓が現代建築（コンクリート）にて構築されている。

【Zoi】：東郷町 昼食

：障害者の就労支援事業所（B型作業所）として運営。調理や接客、農業を通し県内最低賃金を保証することで自立のサポートを行う。レストランである。

社会福祉法人 tomoni plus が運営する施設の一つである。事業体は高齢者介護事業 2施設 障がい者支援事業 14施設 訪問看護サービス 1施設 自立支援サポート 1施設 教育部門 2施設と愛知県全般に展開する大変おおきな事業体である。その中の障がい者支援事業の一つの事業所がZoiでした。障がい特性に専門性特化型コーチングで戦力となる人材育成を実施、ジョブカレの専門コースの設置 IT 情報テクノロジーコース Industry 製造・産業コース Nature ネイチャーコース Service サービス業コース の4コースでまず、教育部門にて適正判断と人材育成を行い、現場赴任を実施している様子。ZoiはService サービス業コースから就業に就いている。また一般人との棲み分けはせずパートナーとしてお互いに尊重しあい従事している。伊豆市内のB型作業所（障害者支援）の賃金は時給400円、Zoiの賃金は1,140円を保証しているとのこと。説明と質疑の応答をして頂いた企画 営業本部長中山様は教育の重要性和障害者と一

一般人との棲み分けをしない。つまりパートナーであることを力説していました。

10月24日（金）

【八町小学校イマージョン教育コース】：豊橋市

：公立小学校で日本で初めて、国語と道徳以外の教科を英語で学ぶイマージョンコースを導入、設置した小学校である。2020年にスタートしており、英語のコミュニケーション力を自分の長所として活かし、グローバル社会で活躍することができる子の育成が目標でした。

八町小学校の全生徒数は320名その内イマージョンコースは各学年約26名×6学年で約156名でした。一般生徒とイマージョンコース生徒が混在している状況でした。一般生徒の一年生のクラスは1いと表記イマージョンコースの一年生のクラス1Aと表記している。イマージョン教育コース（A）にはJTA（Japanese Teacher of English）とNET（Native Teacher English）の2名配置で学級経営を担う。JTAは教員免許を持ち英語教師の免許も持つ日本人、NETは母国語が英語の外国人の条件でした。八町小学校の現状等の説明を伺い3A（理科）、2A（算数）、4A（社会）の順で授業参観をさせていただきました。

いずれも英語が飛び交いまさしくイマージョン（浸す）の世界でした。JTAとNETは英語、生徒に対する出題はNETが英語で、挙手した生徒を指名、返事はYesと返し、解答も英語で（一部は日本語でしたが）、日本語の解答部分はJTAが英語に変換し解答者とNETに伝えるシステムでした。まさしく“授業のテーマは「英語を学ぶ」ではなく「英語で学ぶ」”でした。生徒達の英語の発音が素晴らしくネイティブイングリッシュそのものに感嘆しました。授業参観後会議櫃に戻り当方からの質問に対して回答いただきました。（別紙にて14項目に文章にて）。

【図書交流館「いこっと」】：牧之原市

：民間の施設にテナントとして図書交流館「いこっと」が入居、図書館機能としてだけでなく交流・談話エリアを設けることで来館者数を大きく伸ばし、市民の居場所づくりにも貢献しており、新たな図書館のあり方の参考事例と思える。

当日は牧之原市議会議長村田様が迎えて頂き牧之原市の現状を丁寧にお話しいただきました。竜巻被害の件、牧之原市が本年市制20年を迎え

ること、現在市長選挙、市議会議員選挙の真只中であること（村田様は今回立候補せず引退）、静波サーフスタジアムの完成、手渡した支援金に対してのお礼の言葉、等々。

質問(13項目)に対しては担当職員がお答えいただきました、報告書には明記いたしません。が印象的な事では立上げに際して図書館協議会を作り協議会のメンバーに市民の参加を促し『みんなで作った図書館』の意識づけを計った。との話が聞けました。また本を読むだけの場所から交流、集い、自分事ができる場所にしたい旨の市民からの声を取り入れた。とのことでした。その後施設見学をさせていただきました。

【牧之原市資料館】：牧之原市

：田沼意次を中心とした資料館、NHK 大河ドラマ『べらぼう～蔦重栄華夢噺～』にて江戸幕府の絶対的権力者田沼意次と蔦屋重三郎との関わり合い上相良藩主であった田沼意次のゆかりのまちとしてスポットライトがあたり撮影場所として牧之原市が取り上げられた。大河ドラマの影響は大変なものである。

雑駁ではありますが教育厚生委員会行政視察報告とさせていただきます。

教育厚生委員会

鈴木優治